

# 第2学年 保健体育科学習指導案

日 時  
学 級

場 所  
授業者

## 1 単元名 武道「剣道」

### 2 指導の立場

#### (1) 単元・教材について

剣道は、「構え」や「体さばき」といった基本動作や「面」「小手」「胴」といった基本打突動作を身に付け、相手の動きに応じて、攻撃したり防御したりすることによって、勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わうことができる運動である。中学校で初めて学習する内容であるため、武道を学習する意味や楽しさを味わうと共に、基本動作と基本となる技を身に付け、それを用いて、攻防ができるようにすることが求められている。第2学年では、相手の動きに応じた基本動作から、基本となる技を用いて、打ったり受けたりするなどの攻防を展開できることを目標としている。

勝敗を決める「有効打突」を取るためには、充実した氣勢で、相手の打突部位に刀筋正しく、整った姿勢で打ち込むことが必要である。また、対人競技であるという観点から、相手との間合いを考え、相手の動きに対応して動き、打突することが大切である。また、技の練習の中で互いに打ち合ったり、姿勢や動きを観察して、教え合いをしたりするといった活動から協力して学習する大切さや楽しさも味わうことができる。

#### 【○ 運動の側面】

ねらいは、「相手の動きに合わせて、技を出すことができる」である。

本時では、足さばきから練習をすることで思い切った踏み込みができるようにする。次に相手の動きに合わせてタイミングよく技を出すことができるようにする。

そのために、まず、資料提示と示範から目指す姿を明確に示し、生徒が技術ポイントを的確に理解し表現することができる指導をしていきたい。

#### 【● 集団の側面】

ねらいは、「積極的に取り組むとともに、よい技を認めようとする、分担した役割を果たそうとすること、健康・安全に気を配ること」である。単元を通して、安全に気を付けながら活動し技ができる楽しさや喜びを味わい、その技がよりよくできるようにすることに積極的に取り組む。そして、仲間の頑張りや伸びを認め合える温かな学習集団を目指したい。

本時では、グループ課題、個人課題を明確にする。また、つまずきに気付きどうすればうまくなることができるのかについて技術ポイントを伝え合い、工夫して学習に取り組むことができるよう指導をしていきたい。

#### (2) 生徒の実態について

事前アンケートを行った結果、以下の回答が挙げられた。

① 剣道は得意ですか？ どちらかに○をしてください。

・はい (3名)                      ・いいえ (18名)

② あなたは、試合中の意識でどのタイプにあてはまりますか？

3つのうちあてはまるものに○をしてください。

・攻撃的（どんどん攻めていこう。空いているところがあれば打っていく。など） (7名)

・守備的（とりあえず一本を取られないようにしよう。ガード重視。など） (13名)

・その他（例）相手に合わせる・相手が攻めなら守り、守りなら攻める など） (2名)

③ 剣道が上達するために必要なことは何だと思いますか？

・礼儀    ・集中力    ・相手の動きをよく見る    ・メンタルの強化    ・強気    ・素早い攻撃をする  
・声を出すなど

### 【○ 運動の側面】

アンケート結果から、剣道に対して苦手意識があるが、上達するためには、相手の動きを見ることや素早い踏み込みで攻撃することが大切であるということを理解している。また、守備的と解答した生徒のほとんどが一本をとるために、強気で攻める、力強く踏み込むことが大切であると考えている。

単元を通して力強い踏み込みを意識して行わせる。帯活動にも足さばきの運動を取り入れることで、一本をとるために必要な技能を身に付けていく。

本時では、相手の動きに合わせて技を出す、抜き技を身に付けさせる。足さばきの練習、相手の動きに合わせて技を出す練習と段階をおって取り組み、試合で活用できる技の習得を目指す。

### 【● 集団の側面】

1学期は、「体づくり運動」「バスケットボール」「水泳」を行った。本校は、男女共修の体制で行っている。2年生では、男女間で能力の差はあるが、グループ活動では、仲間と協力してボールを回したり、励ましの声かけをしたりする姿がある。

剣道においても、グループ活動を主として、仲間の声掛けやアドバイスを大切に授業を進めていく。

## 3. 研究主題とのかかわり

仲間と共に主体的に運動に取り組み、基礎的・基本的な技能の定着と活用を図る体育授業  
～武道指導における有効な指導の在り方～

### (1) めざす姿と生徒の意識に基づいた単元指導計画の作成

昨年度、中学1年では、基本技の習得を行った。しかし、試合になると基本的な技を出すことができず、チャンバラ状態になった。そこで、もう一度基本の技を学習すると共に発展技へとつなげて行きたい。事前アンケートにより実態を把握し、めざす技を身に付けさせるために単位時間ごとのつきたい力と出口の生徒の意識を明確にした単元指導計画を作成した。

試合の中で、力強い踏み込みから、手首を柔らかく使った打ち込みで一本を取れるように、帯活動に踏み込みと手首のスナップを重視した練習を取り入れる。

### (2) 基礎的・基本的な技能の確実な定着と活用を図る一単位時間の指導方法の工夫

本時学習する面抜き胴は、相手が打ってくるタイミングで反応することが必要である。また、物打ちでしっかりと当てることができるように距離感も大切になってくる。授業の中で、段階に分けて練習し技の確実な定着を図る。まず、動画を活用して技のイメージを作る。実演にてポイントをつかませる。技の習得において全体で踏み込みの練習。男女別で打ち込み練習。グループ活動で仲間の姿を伝え合う。というように段階をおって技のイメージを作っていく。また、試合を位置づけ、技の定着を図る。

事前アンケートでの意識調査の中で、とにかく守ることを重視している生徒が半数以上いたことから、技を出す大切さや、技が決まったときの喜びを体験し、試合の中で積極的に使っていくことで活用を図る。

4【単元指導計画】

2年生「剣道」(全10時間)

計画	時	学習内容		学習活動	教師の指導・援助	
		運動の側面	集団の側面	運動の側面・集団の側面	運動の側面	集団の側面
画	1	○防具の着脱 ・基本動作の確認 ・「面」「小手」「胴」の復習	●仲間の姿を見て、アドバイス をすることができる。	・単元全体の流れを知り、見通しをもつ。 ・1グループ5～6人×4グループ ・運動の側面・集団の側面における目標、めざす仲間の姿を決める。	○学習カードや示範等により、めざす姿を具体的に示し、学習目標を明確につかませる。 ○帯活動の仕方など、授業の流れを説明し、次時から行えるようにする。	●めざす仲間の姿を具体的に語りイメ ージさせる。 ●学習カードの声かけレベルの表を活用して、声かけの例示をする。
	2・3	○基本動作や基本となる技を用いて、打ったり受けたりするなどの攻防ができる。  (出口の意識) ・単一技ではなかなか一本が取れない。	●リーダーの指示でまとまって活動できる。 ●礼儀作法を身に付ける。	・防具の着脱を素早く行う。 ・「構え」「体さばき」の確認 ・「有効打突」の確認(気・剣・体) ・打つときの踏み込みを大切にす。	○防具の着脱を正しく、丁寧に、素早く行わせる。 ○「有効打突」の条件を常に大切にする。掲示物を活用する。	●まとまって学習できているグループを褒め、リーダーの役割の果たしぶり とつなげて全体会で価値づける。
	4・5	○しかけ技(二段の技)ができる。  (出口の意識)・積極的に技を出すことができた。・技を出して押しているだけでは一本が取れない。	●具体的な声かけやアドバイスができる。	・面-面・小手-面・面-胴 ペア学習・トリオ学習  ・約束稽古 2人一組で、技のポイントを確認しながら打つ。一足一刀で打つ。ゆっくりから小さく速く打つ。 ・掛かり稽古 元立ち一人に対して、掛かり手数人が順番に技を出す。 ・試合 決められた時間で今まで学習した技を出す。	○ゆっくりした動きからイメージをつかむ。ポイントを話ししながら示範する。  ○一足一刀の間の確認  ○踏み込みの一步が大切であることを教える。→踏み込みを行うことで素早い打ち込みに変わっていく。  ○試合では、練習した技を出して一本を取ることを意識させる。	●みんなで励ましの声をかけ合い雰囲気 を盛り上げることが、技能の向上に大きく関わることを説明し、一人一人が声を出すように促して いく。 ●技術ポイントを意識した具体的なアドバイス ができている生徒を紹介し、価値付ける。 ●自信のない生徒に対して、仲間からの援助活動ができるように、働きか けていく。 【レベル1】励ましの声かけ 【レベル2】アドバイス 【レベル3】情報伝達
	6・7	○しかけ技(引き技)ができる。  (出口の意識)・引きながら技を出すことができた。 ・相手が攻撃してきたところを、かわして攻撃しよう。	●積極的に声かけやアドバイス ができる仲間をめざす。	●安全に気を付けながら試合に取り組み、仲間の頑張りや伸びを認め合うことができる。		
	8(本時)	○応じ技(抜き技)ができる。	●具体的な声かけやアドバイス ができる仲間をめざす。			
競技会・反省会	9・10	○リーグ戦 まとめ 【反省会】 ○試合の結果や学習の足跡をもとに振り返ることができる。	●具体的な声かけやアドバイス ができる仲間をめざす。 【反省会】 ●めざす仲間の姿になることが できたか振り返ることができる。	・リーグ戦 2分3本勝負  □反省会 試合の結果から振り返る。 ・自分の役割を果たすことができたか ・仲間との関わり合いについて	○試合を通して、個人の頑張りや技能の 伸びを認め、価値付ける。 ○グループとしての頑張り、よさを紹介 し、認め、価値付ける。	●仲間の頑張りや伸びを認め合えた 姿や、励まし合い、教え合えた姿、 グループの成長した点を、具体的な 事実を通して全体の場で認め、価値 付ける

基礎技能の習得

5 本時のねらい〈運動〉○相手の動きに合わせて応じ技（面抜き胴）を出すことができる。

〈集団〉●既習から、よい声かけとアドバイスを確認し、前半練習と後半練習ともに具体的な声かけやアドバイスができる。

6 本時の展開(本時の位置 8/10時)

		学習内容		学習活動	教師の指導・援助	
		○運動の側面	●集団の側面	運動・集団	運動の側面	集団の側面
つかむ	計画会	<p>◆リーダーが中心となって、グループでそろって準備運動をする。</p> <p>○相手の動きに合わせて技を出すことができる。 ●具体的な声かけやアドバイスができる仲間をめざそう。</p> <p>【初めの意識】・相手の動きに合わせて、技を出そう。 ・声かけやアドバイスの仕方は分かったけれど、練習の中で言えるかな。</p> <p>○VTRと示範から技術ポイントをつかむことができる。 ●前時の振り返りから、よい声かけとアドバイスの仕方を確認できる。</p>		<p>◆体育館4周、準備体操、 ◆手首をやわらかく使って打つ、大きく踏み込んで打つ練習 ・グループごとにリーダーが中心となって指示を出し、繰り返し練習をすることで基底技能を高める。</p> <p>1 全体計画会 相手が面打ちをしてきたときにどのような動きができるだろうか。 ・本時の課題の確認、練習方法の理解、安全面の確認、技術ポイントをつかむ。 ・【発問】に対して、考えられる返答 → <u>空いている胴を打つ。</u> ガードする。</p>	<p>◆上手くできない生徒に声をかけ、一緒に技術ポイントを確認する。 ・前時から、本時の課題につなげる。 【発問】 相手が面打ちをしてきたときにどのような動きができるだろうか。 ○本時は相手の動きに合わせて攻防に重点を置いて練習することを、VTRと示範から気付かせる。 ●意図的指名をし、前時の振り返りからよい声かけとアドバイスの仕方を確認する。</p>	
ふかめる	前半練習 中間研究会 後半練習	<p>〈前半練習〉 ○全体で踏み込みの練習をする。 竹刀が上がった瞬間に踏み込む。 ○掛かり稽古（グループ）</p> <p>〈中間研究会〉 ○前半練習を振り返り、後半練習につなげる。</p> <p>〈後半練習〉 ○掛かり稽古⇒試合</p> <p>○試合で抜き技を使うことができる。</p>	<p>●「もう少し斜め前に踏み込むとよい」などの具体的な声かけをし合えることができる。</p> <p>●練習でかけ合えた声かけやアドバイスを確認し、後半練習や試合につなげる。</p> <p>●具体的な声かけやアドバイスができる。 「相手の動きを見て」 「もっと強く踏み込むといいよ」</p>	<p>2 前半練習 ○一斉練習 ・教師が竹刀を上げる。 その瞬間に踏み込む練習をする。 ○掛かり稽古（グループ） ・元立ち1人に対して、掛かり手4人が順番に技を出す。 ・試合のスピードで踏み込んで打つ。（小さく、速く）</p> <p>3 中間研究会 ○お手本となる仲間の姿をみて、めざす姿や技術ポイントを確認する。</p> <p>4 後半練習 掛かり稽古⇒試合 ○掛かり稽古（掛かり手、元立ち、判定者を順番に回して行う。） 判定基準（気・・・大きな声で気合がある） （剣・・・物打ちで当たっている） （体・・・素早く踏み込む・体勢が崩れない）（残心） 4項目をできているか仲間で伝え合う。 ○試合 1分で行う。 ●仲間の試合を真剣、公平に評価する。</p>	<p>・相手の竹刀が上がった瞬間に踏み込む。 ・斜め前に踏み込む。</p> <p>・上手くできない生徒に声をかけ、一緒に技術ポイントを確認しながら練習する。 ・踏み込みが弱い生徒には、足さばきのみ練習をさせる。 ・試合でより確実に一本をとろうと練習に励む姿を価値付ける。</p> <p>・具体的な声かけやアドバイスをさせる。 ・具体的な声かけやアドバイスをし合い、学び合う姿を価値付け、全体へ広める。 ・自信のない生徒に対して、仲間からの援助活動ができるように、働きかけていく。 【バブル1】励ましの声かけ 【バブル2】情報伝達 【バブル3】アドバイス</p>	
まとめる	反省会	<p>○相手の動きに合わせて技を出しているか振り返る。</p> <p>【終わりの意識】 ・試合で思い切って踏み込むことができた。 ・練習の中で〇〇さんが「もっと早く！」などの声かけやアドバイスを頑張っていたから真似できるといいな。</p>	<p>●具体的な声かけやアドバイスができる仲間をめざせたか振り返る。</p>	<p>5 グループ反省会 試合の振り返りをする。 ・試合の結果から、相手の動きに合わせて技を出しているか振り返る。</p> <p>6 全体反省会 ・試合の結果を確認し、次時の課題をつかむ。</p>	<p>○相手の動きに応じて技を出すことができたか。 【技能】 ・相手の竹刀が上がった瞬間に打突しているか。 ・強い踏み込みができているか。</p> <p>・グループ反省会に入り、上達した姿を価値付ける。 ・試合での得点に上手くつながらなかった生徒に声をかけ、原因を一緒に考える。 ・課題の達成について評価し、次時の課題につなげる。</p>	

時間	学習内容		振り返り			学習のポイント
	技能面	集団面	技能	集団	評価	
1	オリエンテーション ◇学習内容を知る。 ・防具の着脱	◆仲間で協力して向上できるグループになる。	技能面の目標	グループ内の目標		【準備運動】 ・体育館 4周 ・体操、ストレッチ ・竹刀操作
2	◇基本動作の確認 ・面, 小手, 胴	◆礼儀作法を身に付けることができる。				
3	◇面, 小手, 胴の復習 ・一本を取ることができる。	◆仲間の頑張りを認め、上達するために工夫する。				
4	◇しかけ技ができる。 面一面	◆目標に向けて、みんな で協力する。アドバイスを する。				

5	◇しかけ技ができる。 小手一面	◆仲間の姿を見て、具体的なアドバイスをする。				
6	◇引き技ができる。	◆リーダーの指示で素早く行動し、みんなで活動をする。				
7	◇引き技を試合で活用することができる。	◆仲間一人一人の課題を知る。				
8	◇応じ技ができる。 ・面抜き胴	◆仲間の良いところ、課題となるところを伝える。				
9	◇リーグ戦	◆伝え合いを大切にして、グループで活動できる。				
10	◇リーグ戦 まとめ(反省会)	◆めざす仲間の姿になることができたか振り返ることができる。				